

千葉銀行会社説明会

— 個人投資家の皆さまへ —



平成26年2月
株式会社 千葉銀行
(東証第1部：8331)

≫ 成長性に富む千葉県

千葉県の成り立ち	3
全国から見た千葉県	4
更なる成長が見込めるマーケット	5

≫≫ 千葉県の成長と共に歩む千葉銀行

県内銀行の統合と千葉銀行の創立	7
千葉銀行の歩み	8
千葉県内金融機関シェア	9

≫≫≫ 千葉銀行の営業施策

店舗戦略	11
成長分野に対する取組①	12
成長分野に対する取組②	13
充実した個人向けチャネル	14
無担保ローン・カード事業	15
投資型金融商品の販売拡大	16
社会貢献活動	17

≫≫≫≫ 業績推移と株主還元

業績概要	19
国内預金と国内貸出金の状況	20
経常利益と当期純利益の状況(連結)	21
高い健全性	22
株主還元①	23
株主還元②	24

参考資料

≫ 成長性に富む千葉県

≫ ≫ 千葉県の成長と共に歩む千葉銀行

≫ ≫ ≫ 千葉銀行の営業施策

≫ ≫ ≫ ≫ 業績推移と株主還元

参考資料

縄文時代 弥生時代 古墳時代 奈良時代 鎌倉時代 江戸時代 明治時代

土器の使用が始まるとともに、貝塚群が形成

水稲稲作が始まり、房総全域に農耕集落が発生

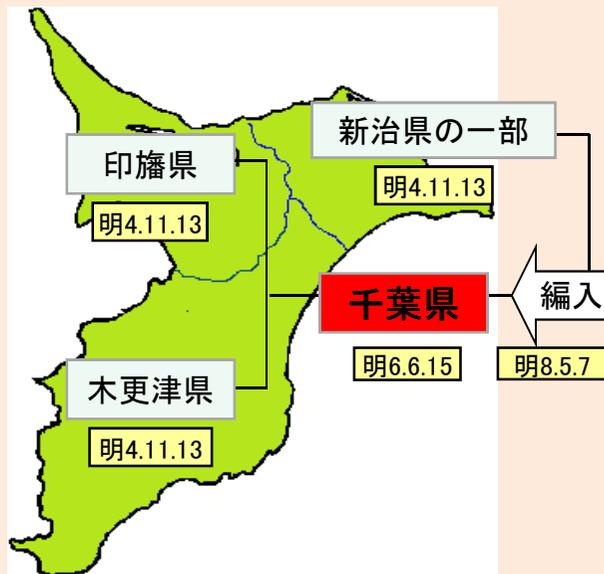
3世紀中ごろから、前方後円墳の築造が開始

「安房」「上総」「下総」の国が形成

源頼朝の命により、「安房」「上総」「下総」の開墾が開始

幕府のお膝元で経済、軍事的に重要な地域として位置付

明治4年・廃藩置県
 明治6年・木更津県と印旛県が統合し千葉県へ
 明治8年・新治県を廃止、一部を千葉県に編入



出所：千葉県ホームページなどを基に当行作成

● 温暖で居住に適した千葉県

- 世界有数の縄文貝塚群
 - ・全国の貝塚総数は約2,300ヶ所
うち千葉県に約700ヶ所(日本一)
- 前方後円墳の数が日本一
 - ・千葉県内には約1万基の古墳
前方後円墳は723基(日本一)

● 「安房」「上総」「下総」の由来

- ・「古語拾遺(こごしゅうい)」によれば、天富命(あめのとみのみこと)により率いられた阿波齋部(あわのいんべ)が、麻を栽培して成功。その肥沃な地が「総(ふさ)の国」と呼ばれ、齋部の居住地は阿波の名をとって「安房」と名づけられた。
- ・西国からの移住が海岸部から始まったため、半島南部の方が都に近い「上総」、北部が「下総」となった。

千葉県は工業、商業、観光、農業、水産業すべての分野でトップ10入り、バランスの取れた産業構造

人口

		(万人)
1位	東京都	1,316
2位	神奈川県	905
3位	大阪府	887
4位	愛知県	741
5位	埼玉県	719
6位	千葉県	622

出所：総務省統計局「国勢調査」
人口等基本集計（平成23年10月）

工業製造品出荷額

		(億円)
1位	愛知県	372,105
2位	神奈川県	169,136
3位	静岡県	153,741
4位	大阪府	146,941
5位	兵庫県	138,707
6位	埼玉県	122,680
7位	千葉県	120,891

出所：経済産業省「工業統計」
（平成22年）

年間商品販売額

		(億円)
1位	東京都	1,822,113
2位	大阪府	616,602
3位	愛知県	434,432
・		
・		
8位	兵庫県	132,693
9位	千葉県	123,222

出所：経済産業省「商業統計調査」
（平成19年）

宿泊者数(延べ数)

		(万人)
1位	東京都	4,919
2位	北海道	2,859
3位	大阪府	2,334
4位	静岡県	2,029
5位	千葉県	1,932

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」
平成24年1～12月の結果(速報)

農業産出額

		(億円)
1位	北海道	10,536
2位	茨城県	4,281
3位	千葉県	4,153
4位	鹿児島県	4,054
5位	熊本県	3,245

出所：農林水産省「生産農業所得統計」
（平成24年）

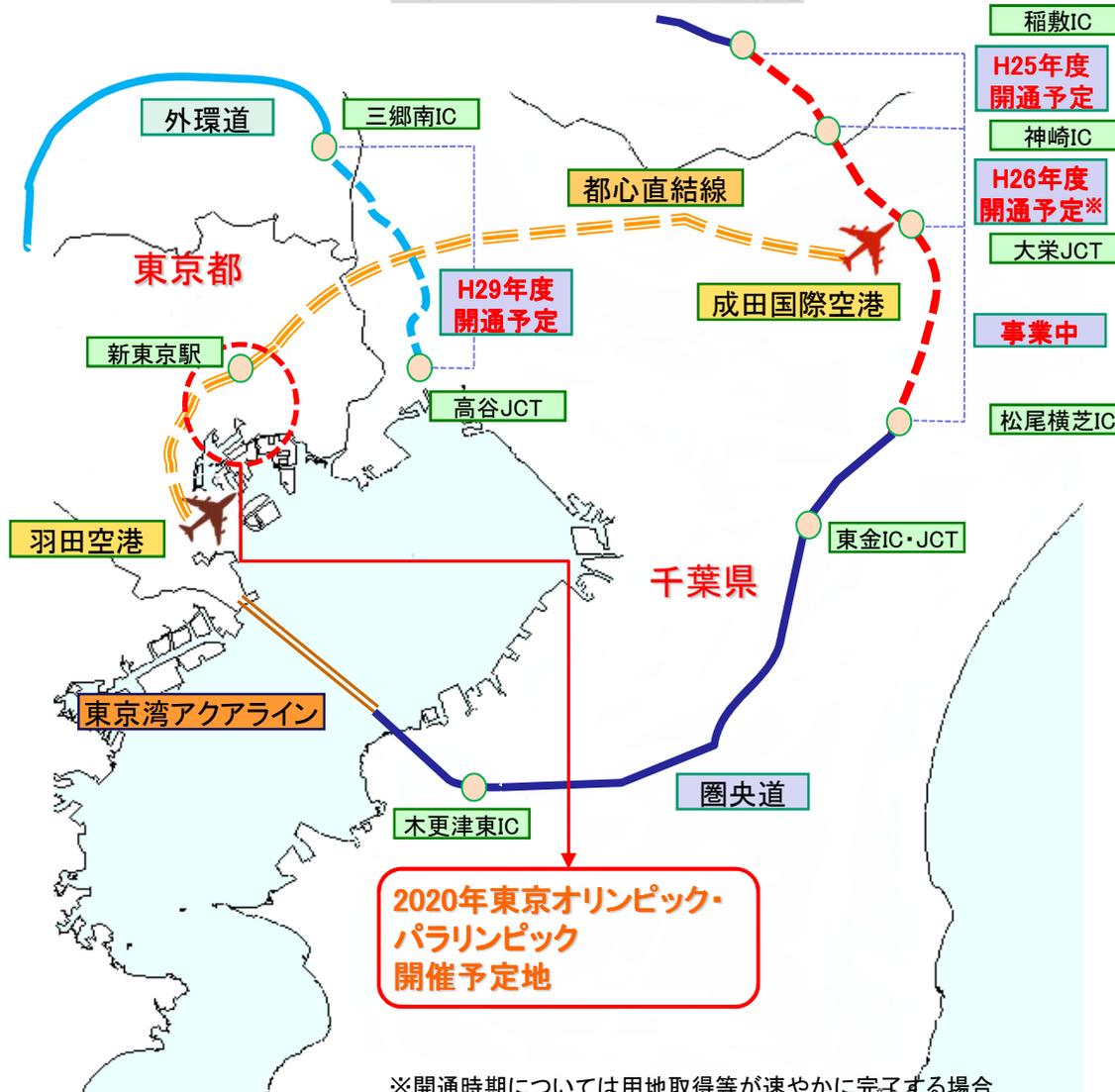
漁獲量

		(万トン)
1位	北海道	114.1
2位	長崎県	24.5
3位	静岡県	22.0
4位	三重県	18.1
5位	千葉県	15.8

出所：農林水産省
「漁業・養殖業生産統計」(平成24年確報値)

東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて千葉、東京双方でインフラ整備が加速

「県内で進むインフラ整備」



インフラ整備加速に伴う高成長

交通インフラ

- ✓ 成田空港関連設備
- ✓ 圏央道 (松尾横芝IC～稲敷IC)
- ✓ 外環道 (高谷JCT～三郷南IC)
- ✓ 都心直結線 (成田空港～羽田空港)

東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う千葉県の経済効果

直接・間接の関連需要合計 852.1億円

直接効果	千葉県への経済波及効果 (県内での生産・サービス誘発額)	201.1億円
+		
間接効果	東京都での施設整備の波及効果により千葉県が享受できる生産・サービス額	584.2億円
+		
間接効果	東京都での施設整備費のうち千葉県事業者による建設受注額	66.8億円

≫ 成長性に富む千葉県

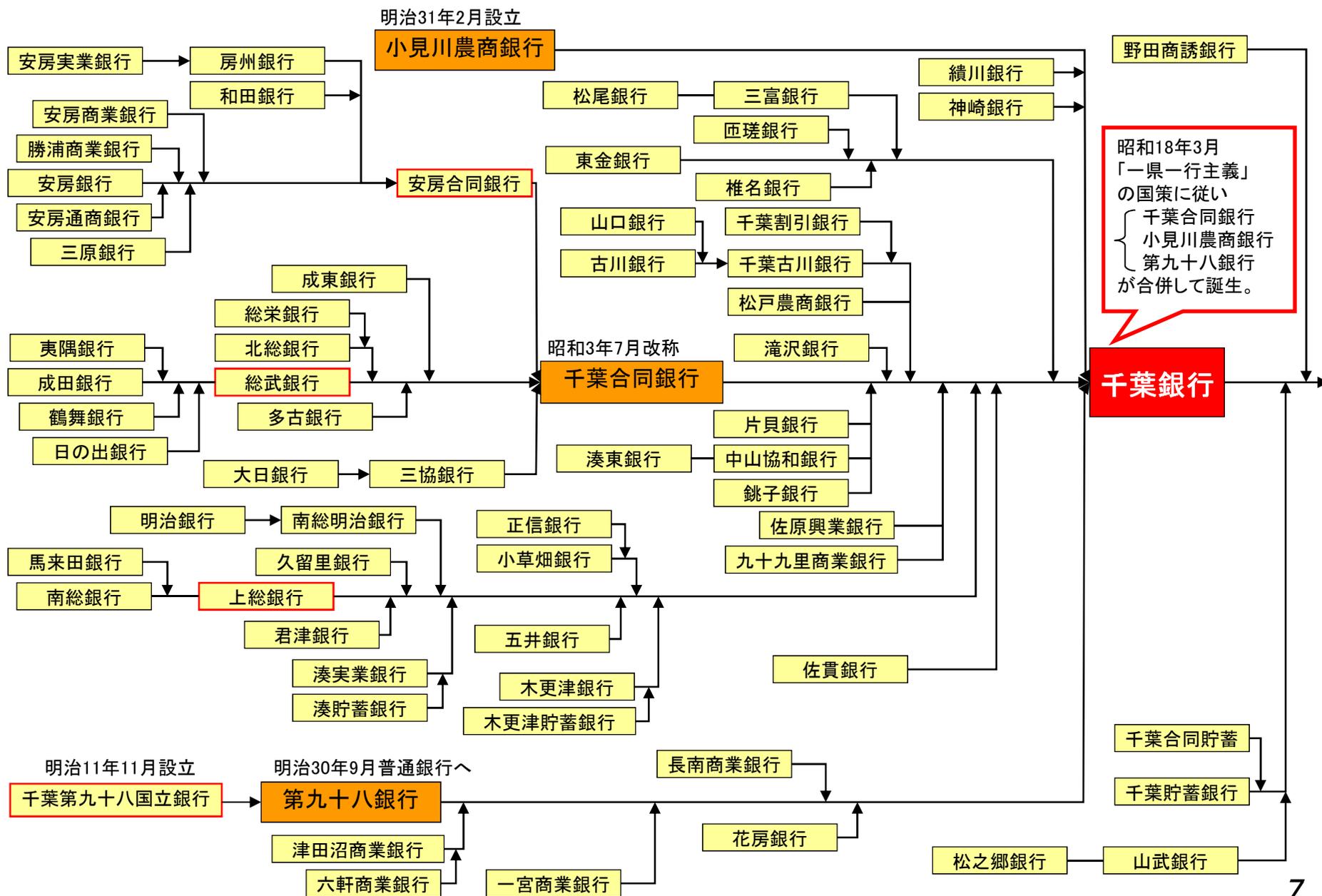
≫ ≫ 千葉県の成長と共に歩む千葉銀行

≫ ≫ ≫ 千葉銀行の営業施策

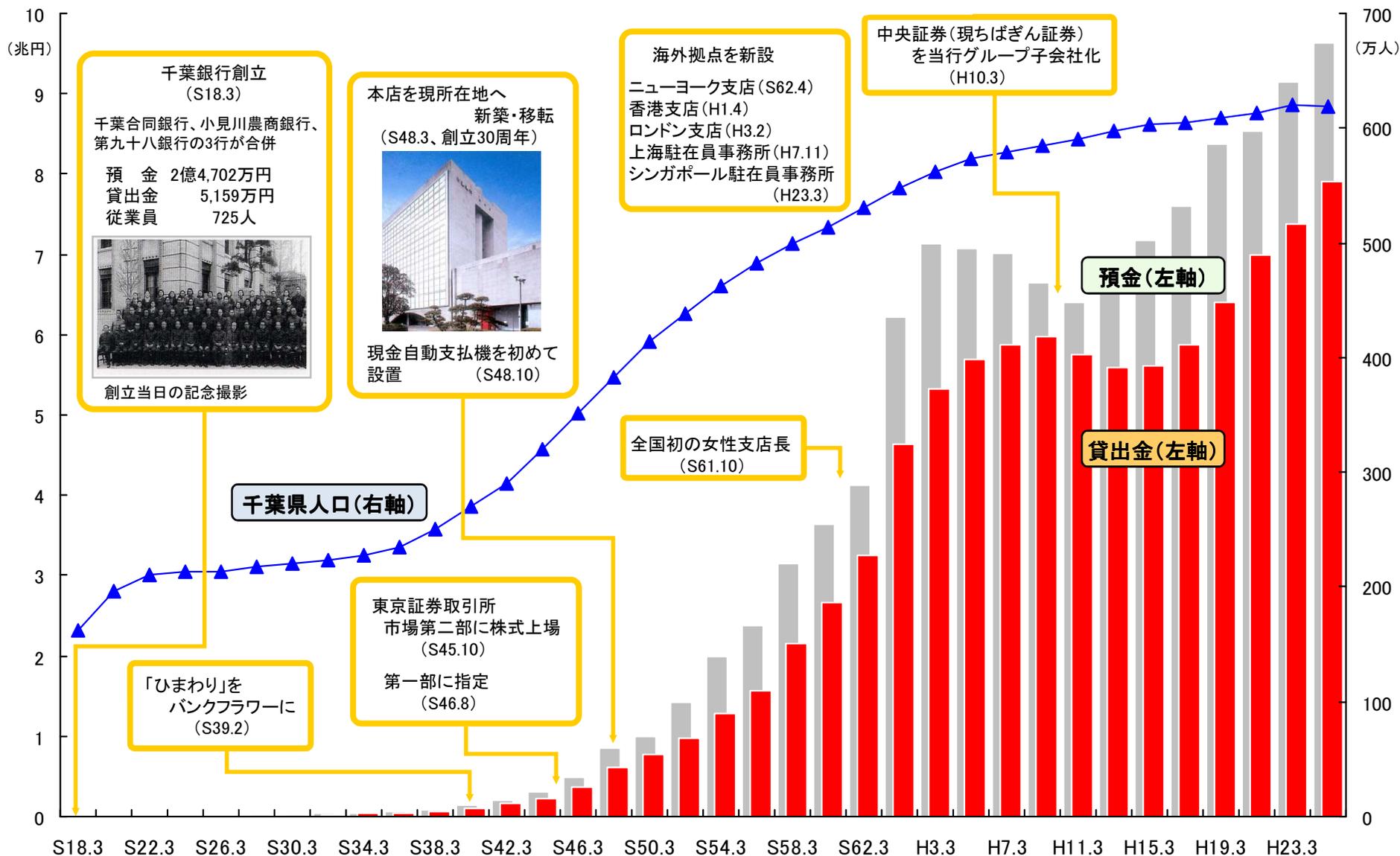
≫ ≫ ≫ ≫ 業績推移と株主還元

参考資料

県内銀行の統合と千葉銀行の創立



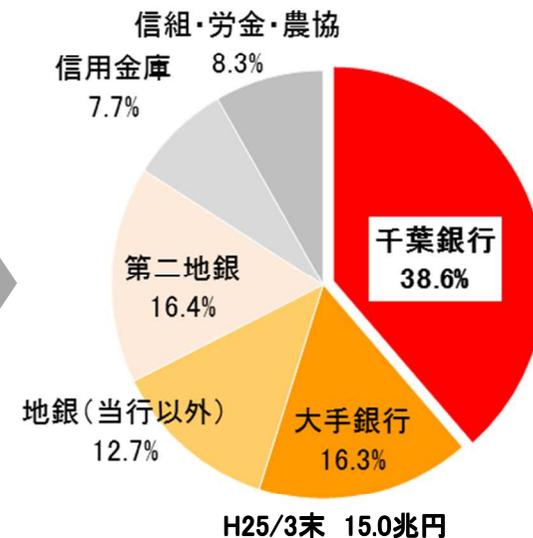
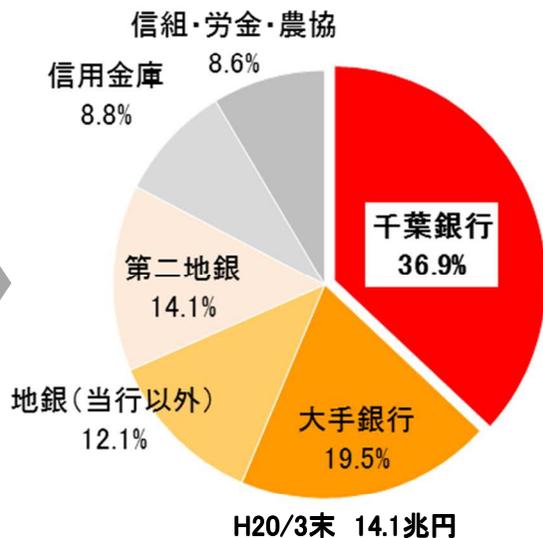
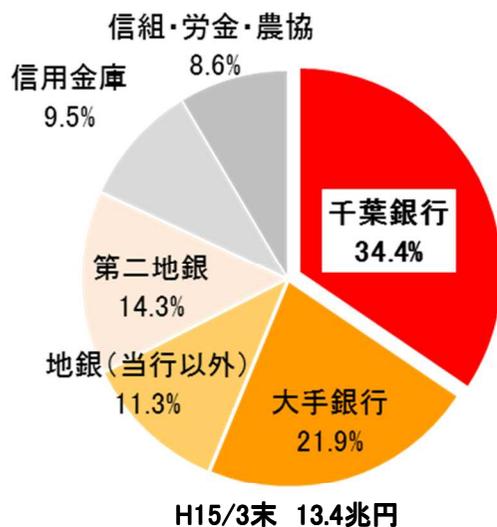
「千葉県の人口」と「当行の預貸金残高」



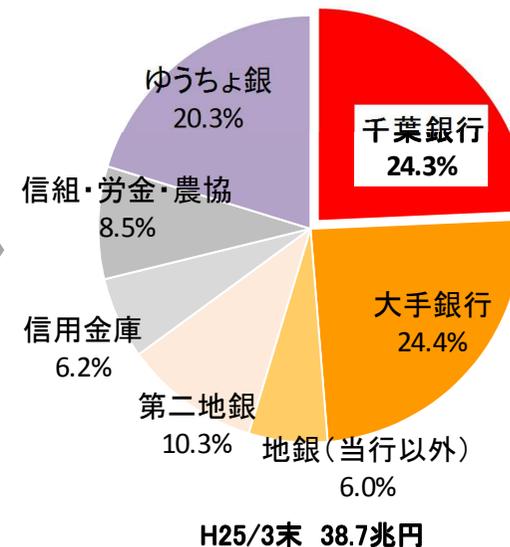
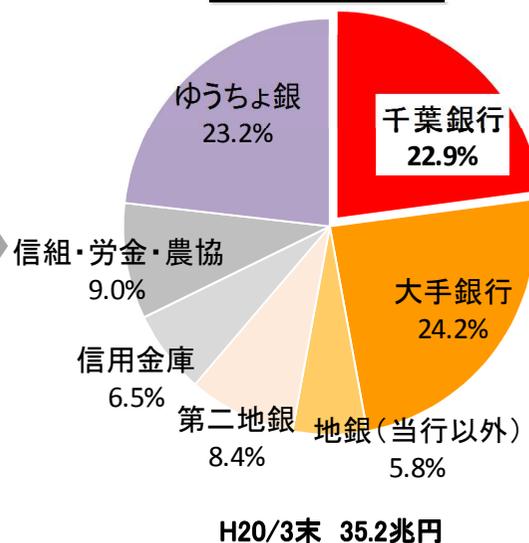
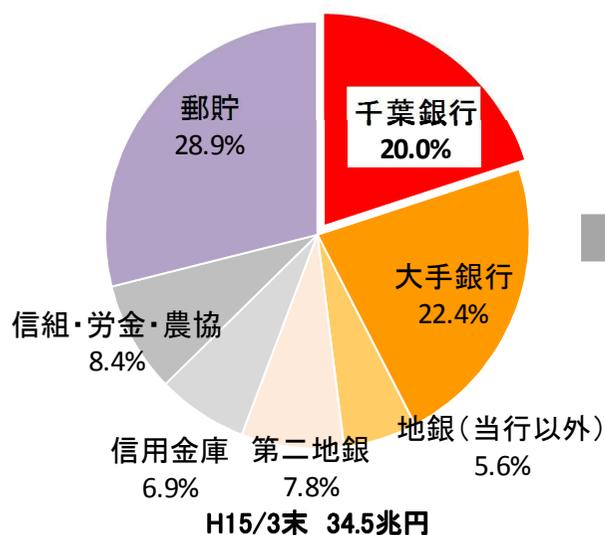
千葉県を中心に強固な顧客基盤を有し、千葉県内で圧倒的なシェアを確保

貸出金シェア

出所: 金融ジャーナル



預貯金シェア



≫ 成長性に富む千葉県

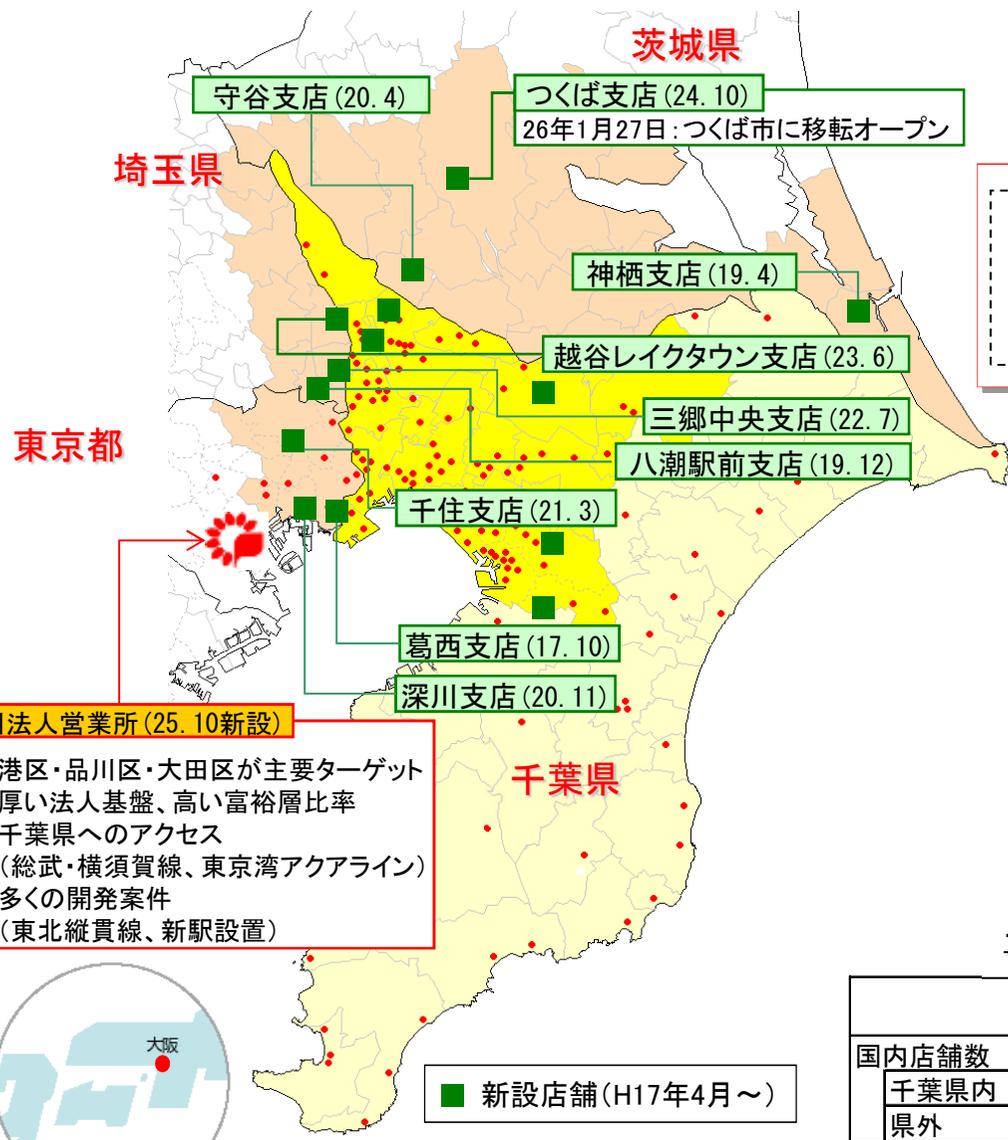
≫ ≫ 千葉県の成長と共に歩む千葉銀行

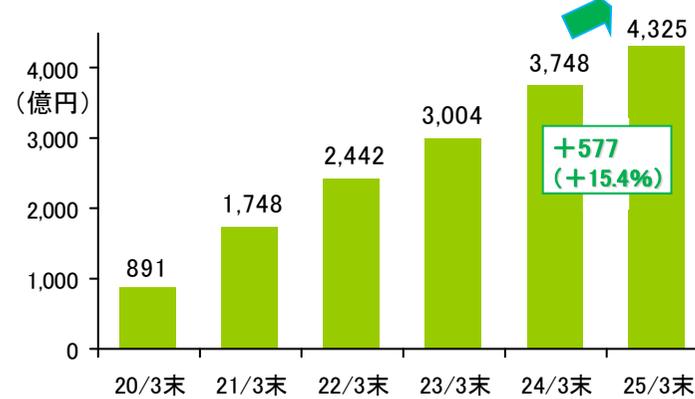
≫ ≫ ≫ **千葉銀行の営業施策**

≫ ≫ ≫ ≫ 業績推移と株主還元

参考資料

千葉県を中心に稠密な店舗網を配置するとともに、「広域千葉圏」の成長地域へ積極的に出店

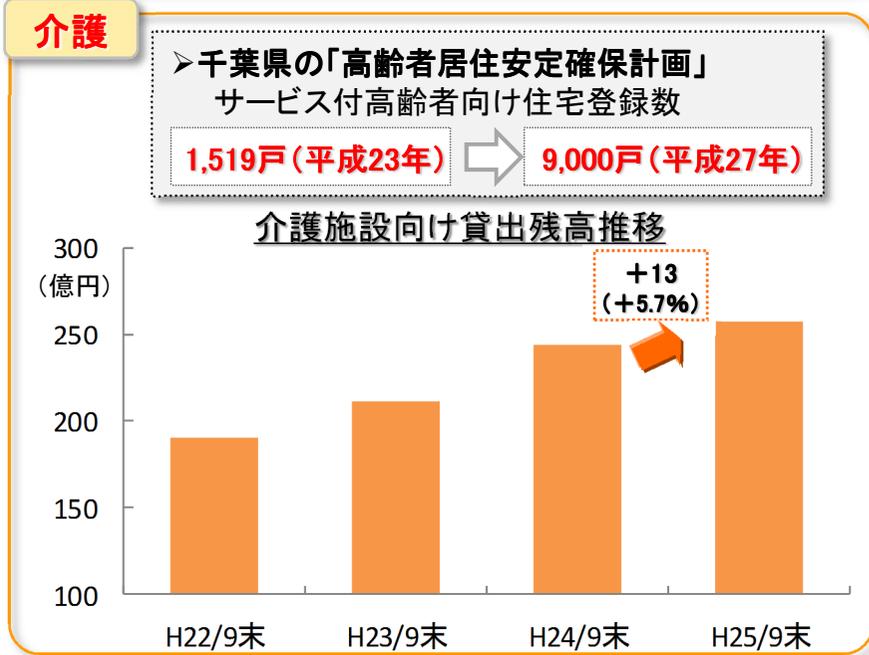
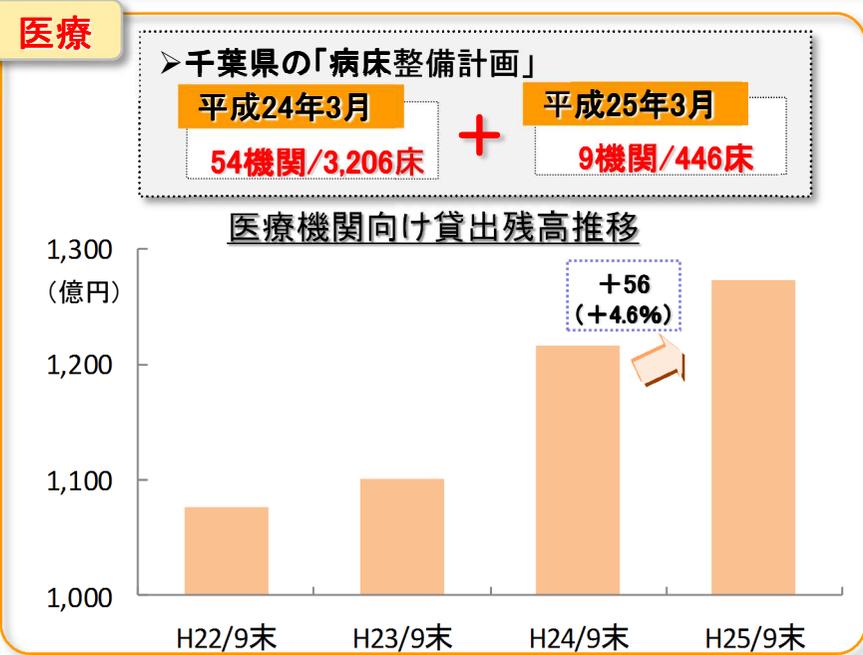
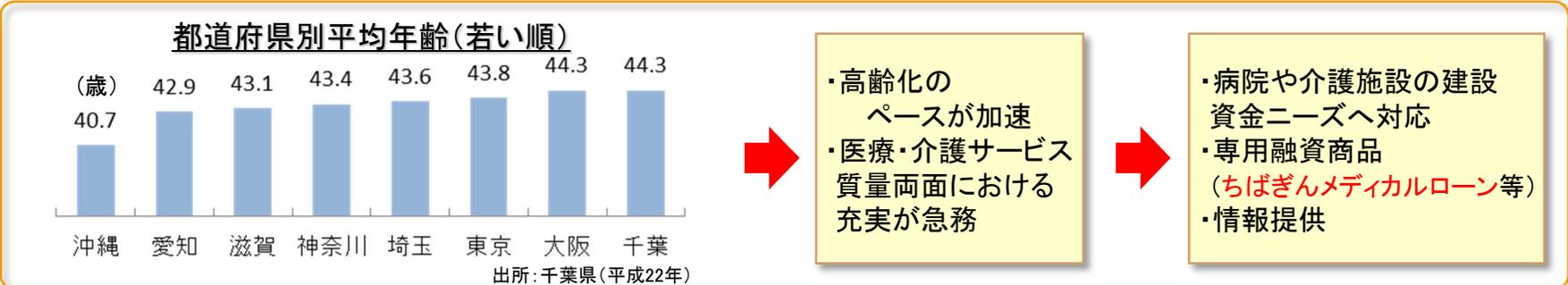

広域千葉圏

新設店舗貸出金残高

千葉県内の主な銀行の店舗数(25/9末)

	当行	京葉銀行	千葉興業銀行	三菱東京UFJ銀行	みずほ銀行	三井住友銀行
国内店舗数	175	120	72	—	—	—
千葉県内	157	119	71	26	25	22
県外	18	1	1	—	—	—



法人営業部の成長ビジネスサポート室に成長分野の専担者を配置。



アプローチチャネルの拡充により、個人のお客さまとの接点拡大を図る

コンサルティング型店舗

営業時間の延長（平日夕、土日も営業）

ちばぎんひまわりラウンジ津田沼

25年12月

毎日 10時～18時 ※12/31～1/3、5/3～5/5を除く

先進的な事務設備
低コスト出店・運営



コンサルティングプラザ

資産運用・保険相談
プライベートバンキング 他

平日 10時～18時、土・日・祝日 10時～17時 ※12/31～1/3、5/3～5/5を除く

コンサルティングプラザ千葉

コンサルティングプラザ柏

コンサルティングプラザ船橋



ローンプラザ

各種ローン相談
申込・契約手続

ダイレクトチャネル

来店不要スキームの構築

インターネットバンキング

スマートフォンアプリ導入

25年7月



ちばぎんローンダイレクト
(コールセンター)

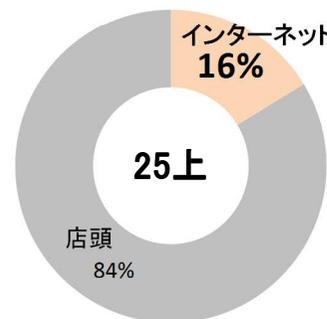
無担保ローン相談
仮審査申込

24年5月

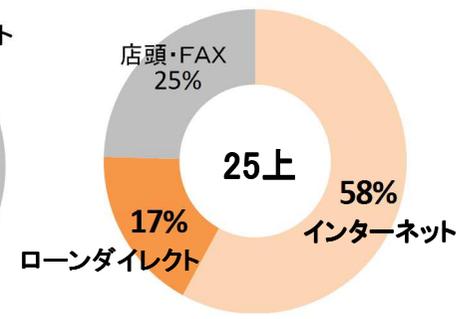


株式投信販売比率

無担保ローン申込比率



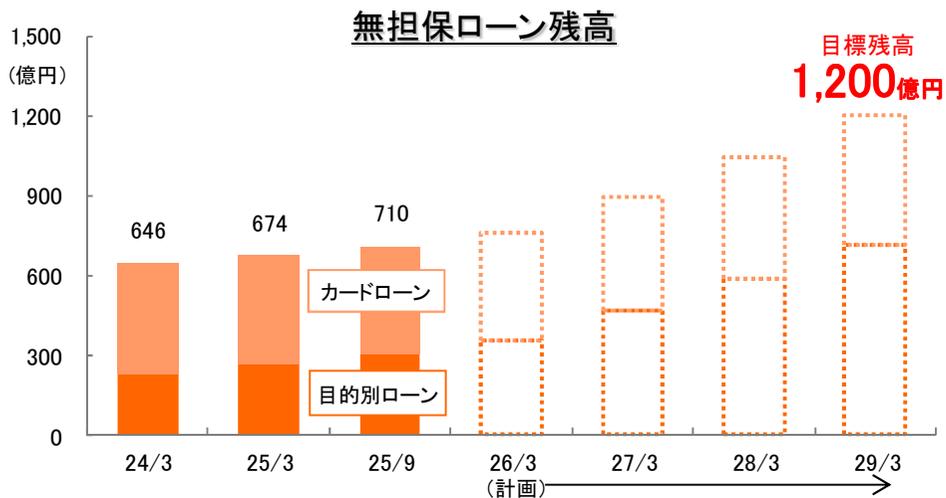
※金額ベース



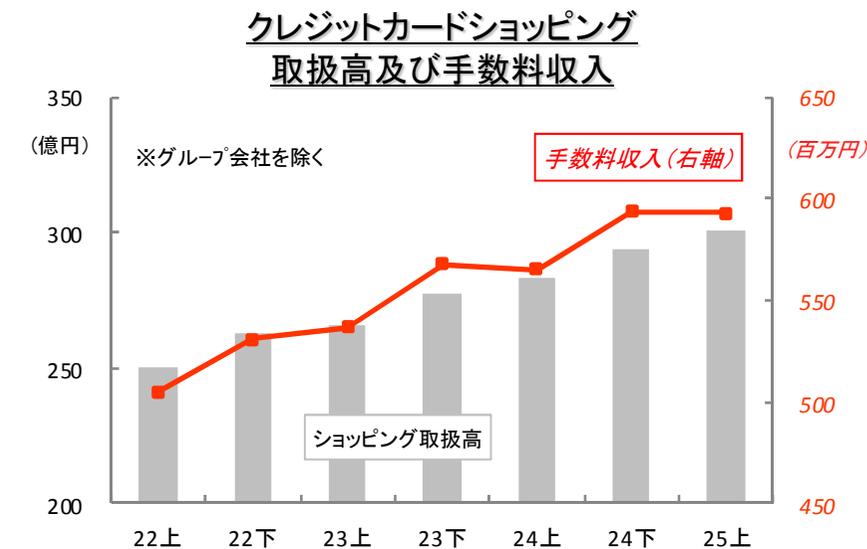
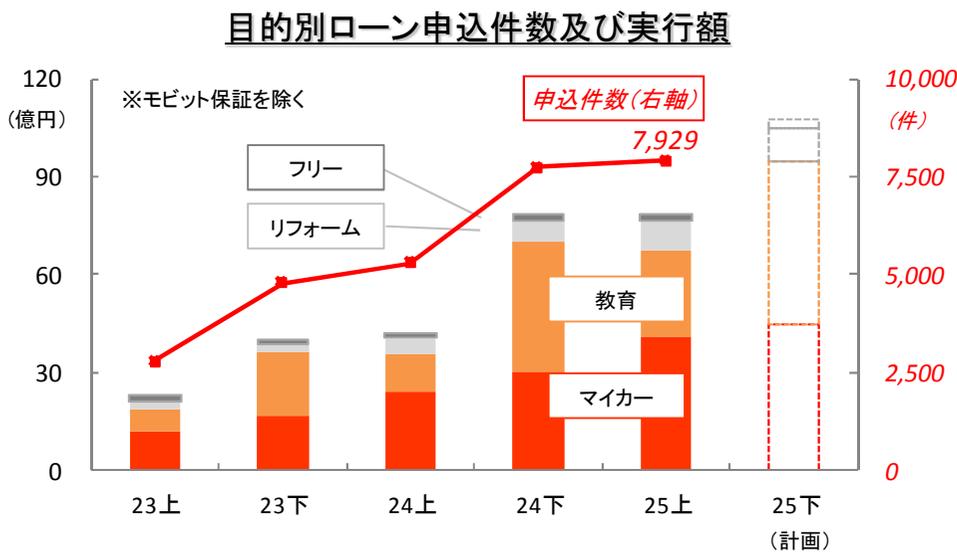
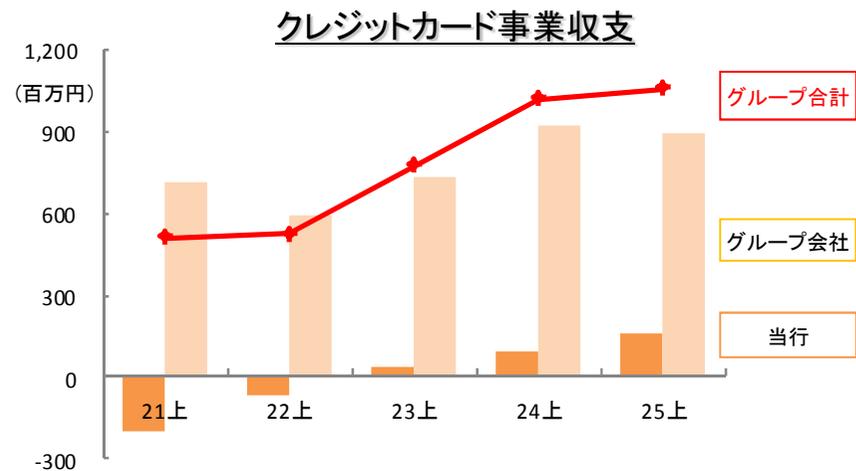
※件数ベース

無担保ローン、クレジットカード事業の強化により収益増強

無担保ローン

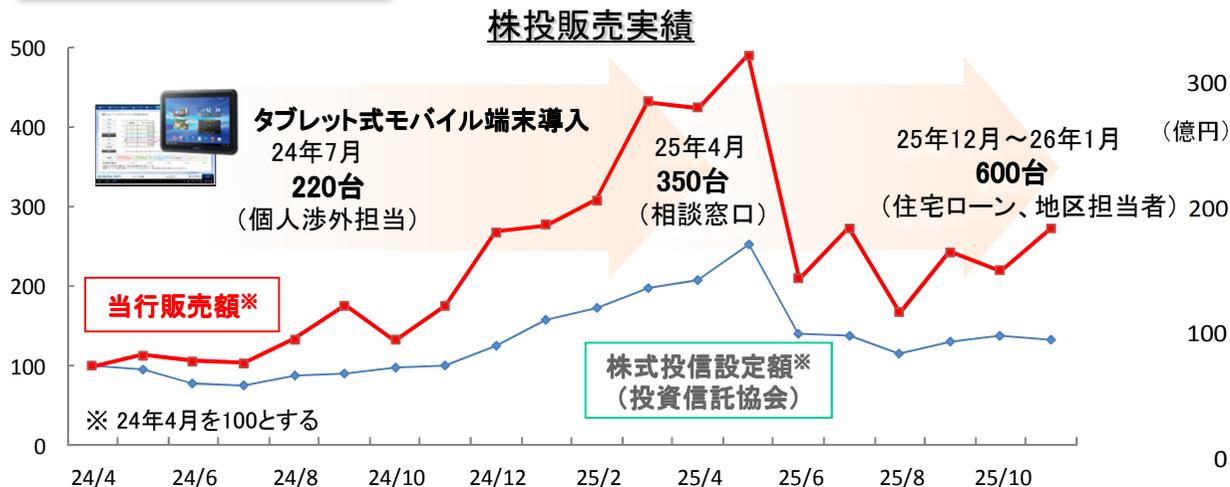


クレジットカード事業



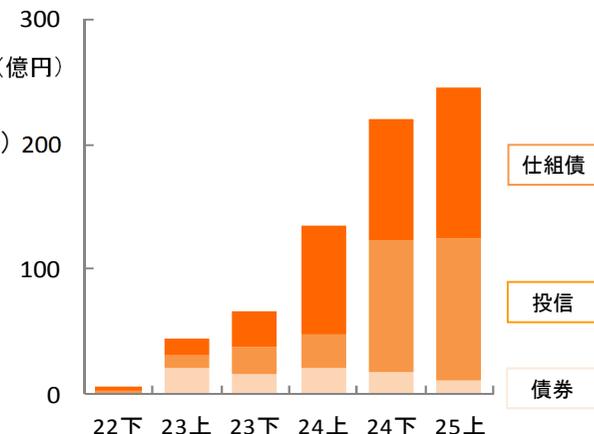
株投の販売は好調、グループ連携を強化し証券業務拡大を図る

金融商品販売

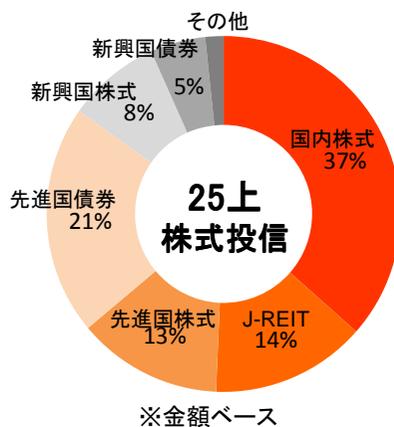


銀証連携

紹介型仲介販売実績



アセットクラス別販売割合

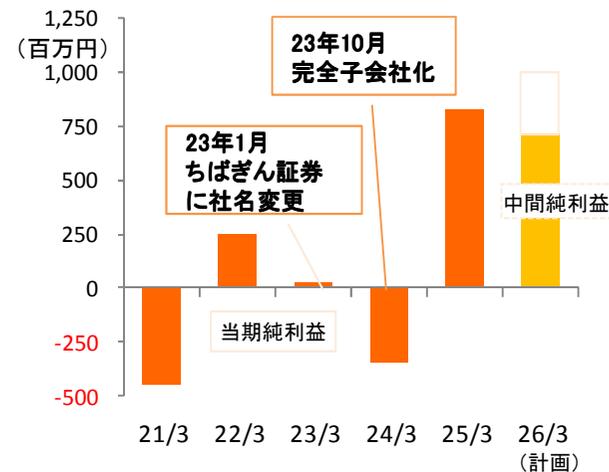


NISA口座獲得状況

口座申込受付合計 約6万件
12月末現在 (ちばぎん証券を含む)



ちばぎん証券の業績



ひと
の未来を
育む

・「ちばぎん金融資料室」の開設

当行と前身銀行を中心とした金融史や、発展を遂げてきた千葉県の姿を展示・紹介する「ちばぎん金融資料室」を開設。



・公益信託「ちばぎんハートフル福祉基金」

千葉県内で社会福祉法人・ボランティア団体の皆さまが行う障がい者福祉、高齢者福祉、児童福祉等の社会福祉活動を資金面から支援



環境
の未来を
育む

・環境保全への取組み

役職員・OBで構成するボランティア組織が県内各地で定期的に清掃活動。

二酸化炭素を吸収する緑を育む活動として、「ちばぎんの森」森林整備活動を継続。



・第3回ちばぎん省エネ・ECOセミナーの開催

「省エネ」に関する情報提供を行い、お客さまの経営体質改善と環境問題への主体的な取り組みを支援。



産業
の未来を
育む

・千葉と愛媛の
観光・物産展示会の開催

LCCが成田・松山間で就航したことを記念し、両県の特産物や観光資源のPRを目的として、伊予銀行と協同で開催。



・マレーシア・ハラルセミナーの開催

マレーシア投資開発庁及び日本貿易振興機構(ジェトロ)より講師をお招きし、「マレーシアへのビジネスと投資機会」、「マレーシアにおけるハラル認証」をテーマとした講演。



≫ 成長性に富む千葉県

≫ ≫ 千葉県の成長と共に歩む千葉銀行

≫ ≫ ≫ 千葉銀行の営業施策

≫ ≫ ≫ ≫ **業績推移と株主還元**

参考資料

連結	(億円)	24/3期	25/3期	前期比	計画比
連結経常利益		669	727	58	37
連結当期純利益		407	441	33	21

単体	(億円)	24/3期	25/3期	前期比	計画比
業務粗利益		1,533	1,524	△ 8	△ 10
資金利益		1,345	1,301	△ 44	△ 8
役務取引等利益		145	154	9	4
特定取引利益		14	13	△ 1	△ 1
その他業務利益		27	54	27	△ 5
うち債券関係損益		9	38	29	△ 1
経費(△)		812	818	5	△ 11
実質業務純益		720	706	△ 13	1
コア業務純益		710	667	△ 43	2
一般貸倒引当金純繰入額(△)		-	△ 27	△ 27	△ 2
業務純益		720	733	13	3
臨時損益		△ 102	△ 69	33	20
うち不良債権処理額(△)		22	117	95	22
うち株式等関係損益		△ 92	9	101	42
経常利益		617	664	46	24
特別損益		△ 7	△ 5	2	1
当期純利益		360	412	52	12
与信関係費用(△)		22	89	67	19

連結当期純利益は4期連続で増益

- ✓ 連結経常利益は
前期比+58億円の727億円
- ✓ 連結当期純利益は
前期比+33億円の441億円
- ✓ 当期純利益の連単差は29億円

銀行単体でも計画を上回る着地

- ✓ コア業務純益は
前期比△43億円の667億円
(計画比+2億円)
- ✓ 経常利益は
前期比+46億円の664億円
(計画比+24億円)
- ✓ 当期純利益は
前期比+52億円の412億円
(計画比+12億円)

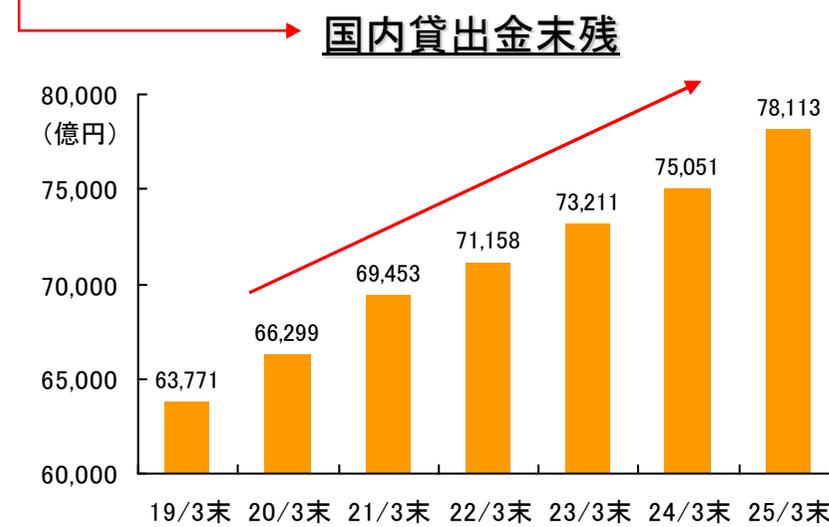
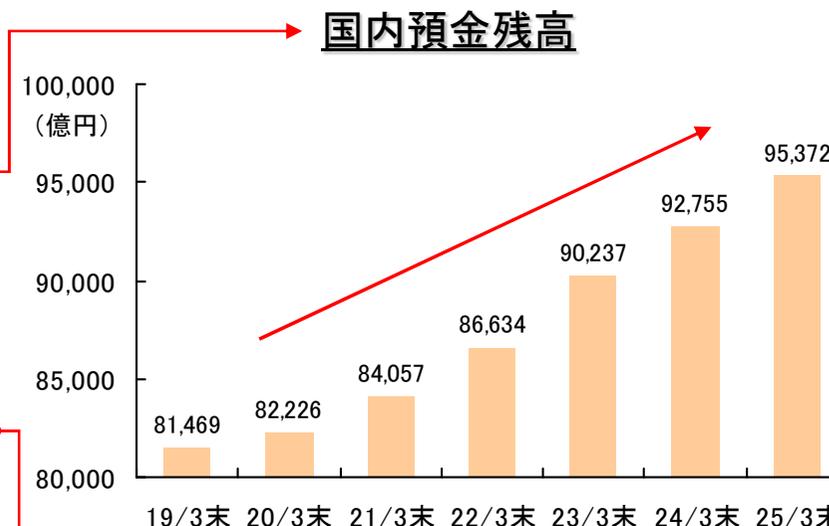
国内預金残高、国内貸出金残高ともに順調に増加

(億円)	24/3末	25/3末	24/3末比	増減率
預金	93,765	96,368	2,603	2.7%
国内預金	92,755	95,372	2,617	2.8%
うち 県内	89,807	92,187	2,379	2.6%
うち 個人	71,829	74,019	2,190	3.0%

(億円)	24/3末	25/3末	前期末比	増減率
国内貸出金	75,051	78,113	3,062	4.0%
除く公共	72,173	74,975	2,802	3.8%
事業者向け	44,666	46,245	1,578	3.5%
大・中堅企業	12,400	13,346	946	7.6%
中小企業	32,266	32,899	632	1.9%
消費者ローン	27,506	28,730	1,223	4.4%
うち住宅ローン	26,586	27,822	1,236	4.6%
公共	2,878	3,137	259	9.0%

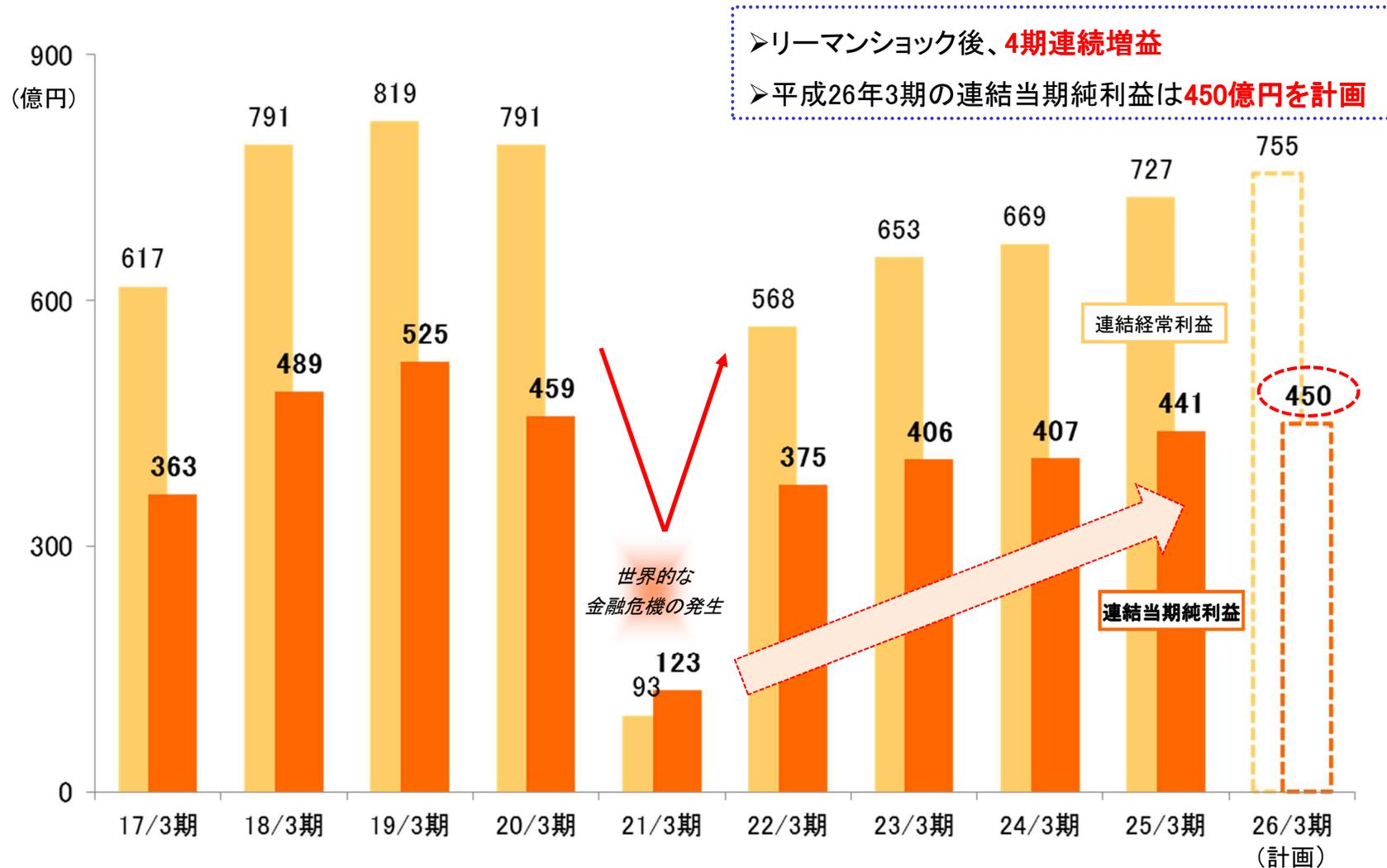
(億円)	24/3末	25/3末	前期末比	増減率
国内貸出金	75,051	78,113	3,062	4.0%
千葉県内店	56,729	58,065	1,335	2.3%
県外店	18,321	20,048	1,726	9.4%
大企業向け店舗 (県外特別店*)	11,953	12,625	671	5.6%
個人・中小企業向け店舗 (県外特別店*以外)	6,368	7,422	1,054	16.5%

(※)東京営業部、新宿支店、大阪支店



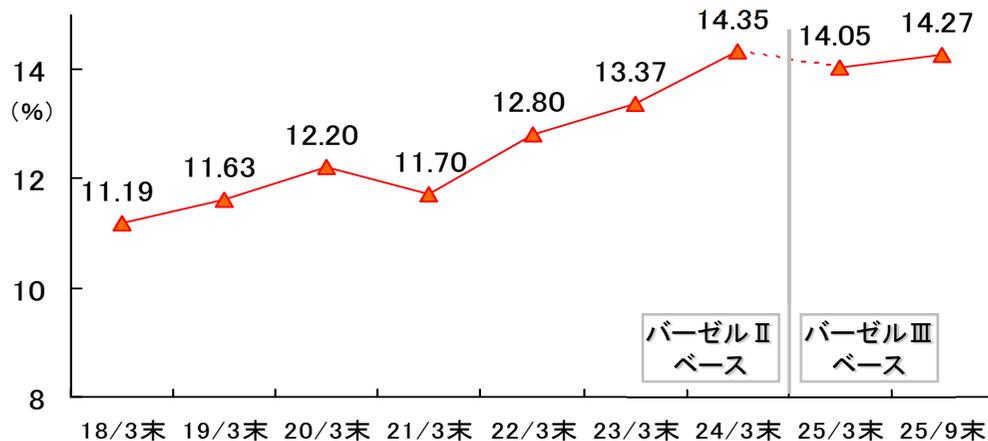
国内預金や国内貸出金の増加により、安定した収益力を維持

連結経常利益と連結当期純利益



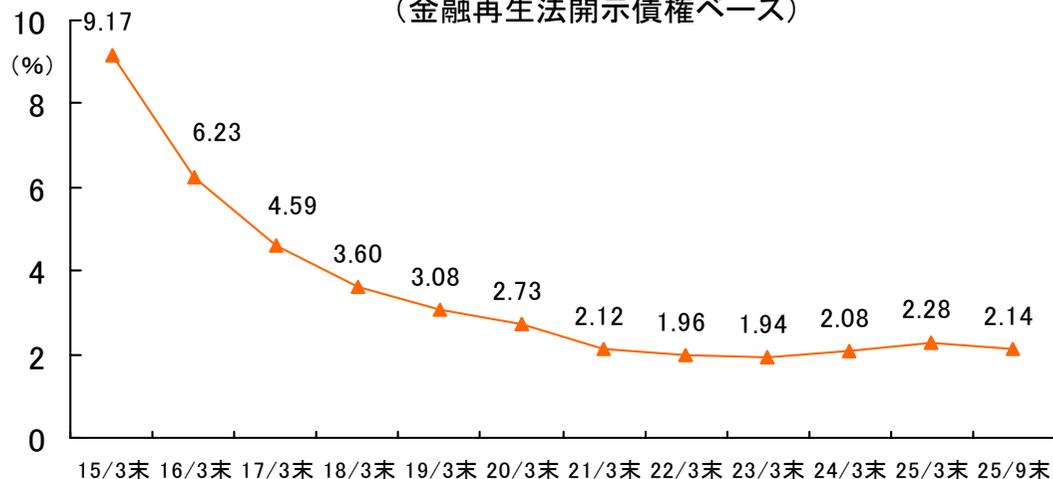
高い健全性で、地域へ円滑かつ安定的に資金を供給

連結自己資本比率



不良債権比率

(金融再生法開示債権ベース)



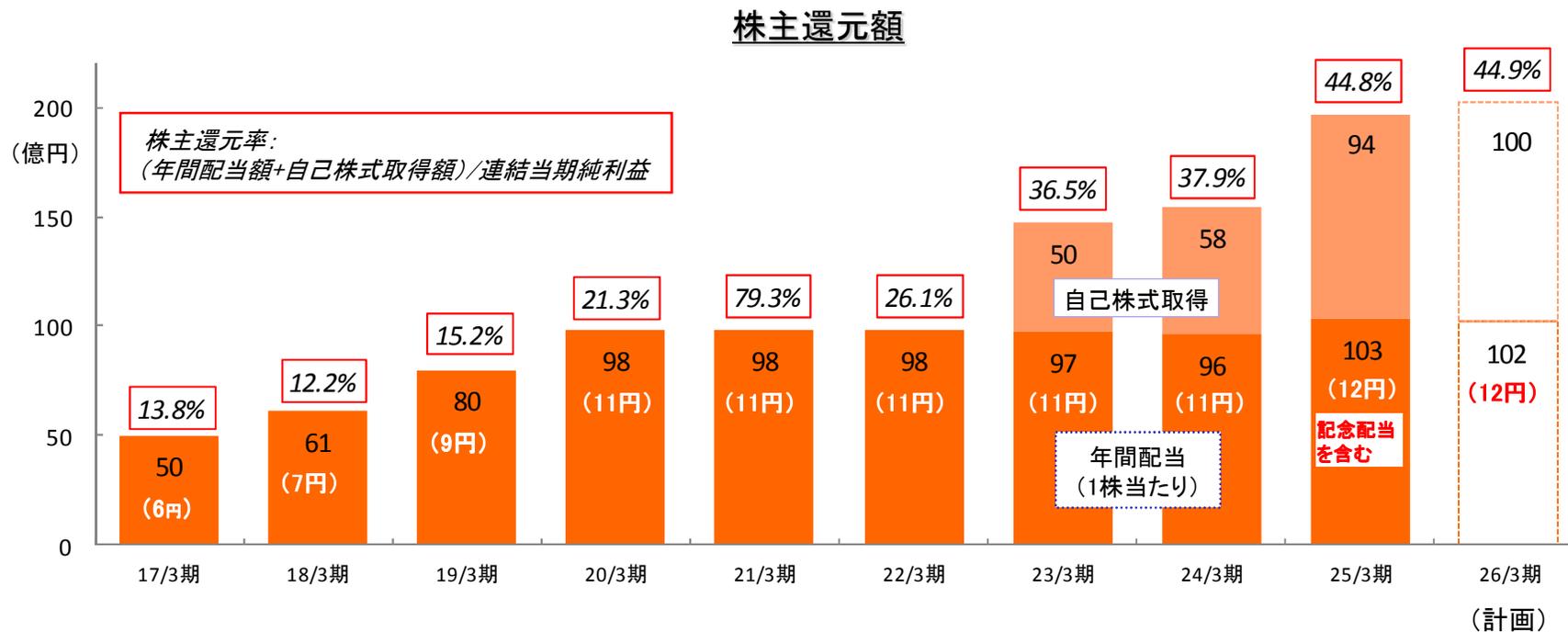
銀行格付比較

(平成25年12月末現在)

格付	銀行名
AA	静岡銀行
AA-	千葉銀行 横浜銀行 常陽銀行 福岡銀行 三菱東京UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行 三井住友銀行
A+	群馬銀行 八十二銀行 みずほ銀行 みずほ信託銀行 三井住友信託銀行 りそな銀行 埼玉りそな銀行
A	北陸銀行
A-	
BBB+	新生銀行 あおぞら銀行

格付投資情報センター※(R&I)による発行体格付
※国内最大の格付機関

安定配当の方針を維持しつつ、積極的に利益を還元。年間12円配当を維持。



自己株式の取得状況

【22年10月】
10百万株(50.6億円)を取得

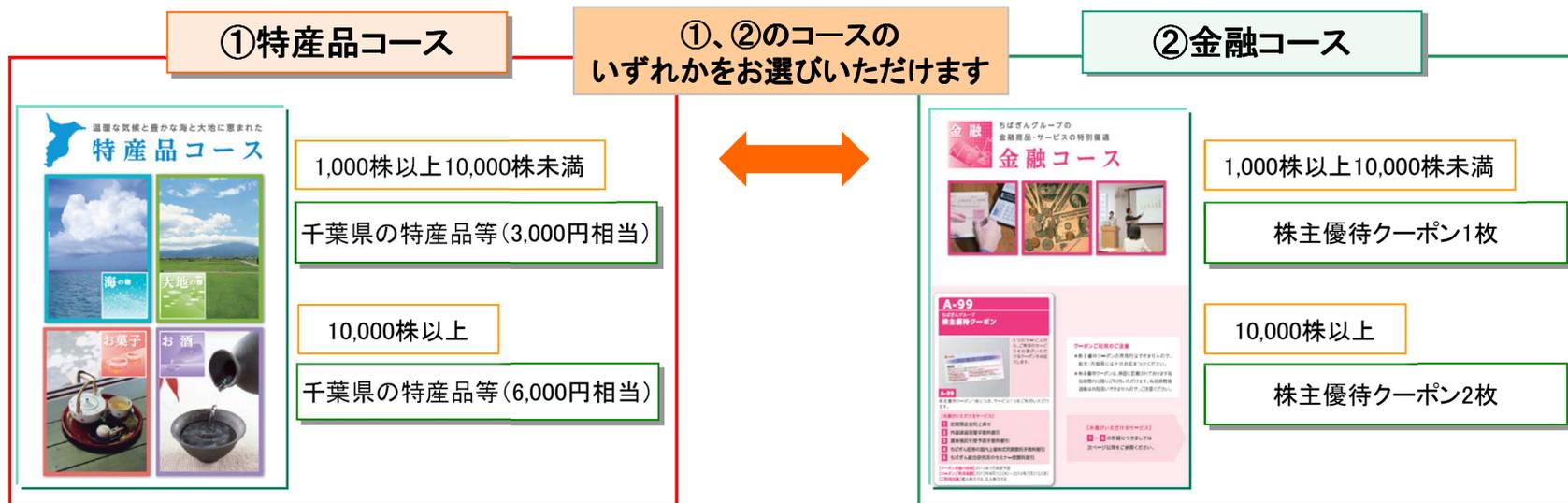
【23年5月～6月】
12百万株(58.2億円)を取得

【24年11月～12月】
10百万株(48.5億円)を取得
【24年5月～6月】
10百万株(45.8億円)を取得

今年度
【25年11月～12月】
13.9百万株(100億円)を取得

株主の皆さまの幅広いニーズにお応えするため、株主優待制度をご用意

株主優待制度 <優待基準(毎年3月末)>



カタログに記載された千葉県の特産品等からお好みの商品をお選びいただけます。

<人気商品の例>



※写真はすべて3,000円相当カタログ掲載の商品

当行およびグループ会社が提供する金融商品・サービスの優待が受けられる株主優待クーポンをお送りいたします。

<株主優待クーポン1枚で受けられる優待内容>

1	定期預金1年もの店頭表示金利(年)0.2%上乘せ (1枚につき1回限り500万円が上限、期間1年)
2	外国通貨両替手数料20%割引(1枚につき1回限り割引後レートで日本円100万円相当分の両替が上限)
3	遺言信託引受承諾手数料(21万円[税込])20%割引
4	ちばぎん証券の国内上場株式売買委託手数料20%割引 (1枚につき年間1万円が上限)
5	ちばぎん総合研究所のセミナー受講料20%割引 (1枚につき1回限り1万円が上限)

※上記のいずれか1つをお選びいただけます

≫ 成長性に富む千葉県

≫ ≫ 千葉県の成長と共に歩む千葉銀行

≫ ≫ ≫ 千葉銀行の営業施策

≫ ≫ ≫ ≫ 業績推移と株主還元

参考資料

	<億円>	24/9期	25/9期	増減額
1 業務粗利益		772	765	△ 6
2 資金利益		662	649	△ 13
3 役務取引等利益		72	89	17
4 特定取引利益		5	6	1
5 その他業務利益		31	20	△ 11
6 うち債券関係損益		23	12	△ 11
7 経費(△)		412	412	△ 0
8 実質業務純益		359	353	△ 5
9 コア業務純益		336	341	5
10 一般貸倒引当金繰入額(△)		-	-	-
11 業務純益		359	353	△ 5
12 臨時損益		△ 23	47	70
13 うち不良債権処理額(△)		7	△ 4	△ 12
14 うち株式等関係損益		△ 37	5	43
15 経常利益		336	400	64
16 特別損益		△ 3	△ 4	△ 1
17 中間純利益		207	253	45
18 与信関係費用(△)		7	△ 4	△ 12
19 連結経常利益		367	435	68
20 連結中間純利益		220	266	45

資金利益

	<億円>	24/9期	25/9期	増減額
資金利益		662	649	△ 13
国内業務部門		645	628	△ 16
うち預貸金		580	552	△ 27
貸出金利息		601	574	△ 27
預金利息		21	21	△ 0
うち有証利息配当金		76	81	4
国際業務部門		17	20	3

役務取引等利益

	<億円>	24/9期	25/9期	増減額
役務取引等利益		72	89	17
役務取引等収益		163	180	17
うち投信+年金保険等		43	52	9
投資信託		19	35	16
年金保険等		23	16	△ 7
うち保障性保険手数料		3	5	1
うち法人役務手数料		6	8	1
役務取引等費用(△)		90	91	0
うちローン関係費用(△)		55	56	1

	24/12期	25/12期	増減額
1	1,162	1,149	△ 13
2	988	971	△ 17
3	108	130	21
4	8	11	2
5	56	36	△ 19
6	44	23	△ 20
7	620	623	2
8	542	525	△ 16
9	497	501	3
10	-	-	-
11	542	525	△ 16
12	10	43	33
13	15	4	△ 11
14	△ 13	9	23
15	552	569	16
16	△ 3	△ 5	△ 1
17	343	357	14
18	15	4	△ 11
19	609	629	19
20	368	382	14

資金利益

	24/12期	25/12期	増減額
資金利益	988	971	△ 17
国内業務部門	961	938	△ 23
うち預貸金	869	827	△ 42
貸出金利息	901	858	△ 42
預金利息	31	31	△ 0
うち有証利息配当金	110	119	8
国際業務部門	27	32	5

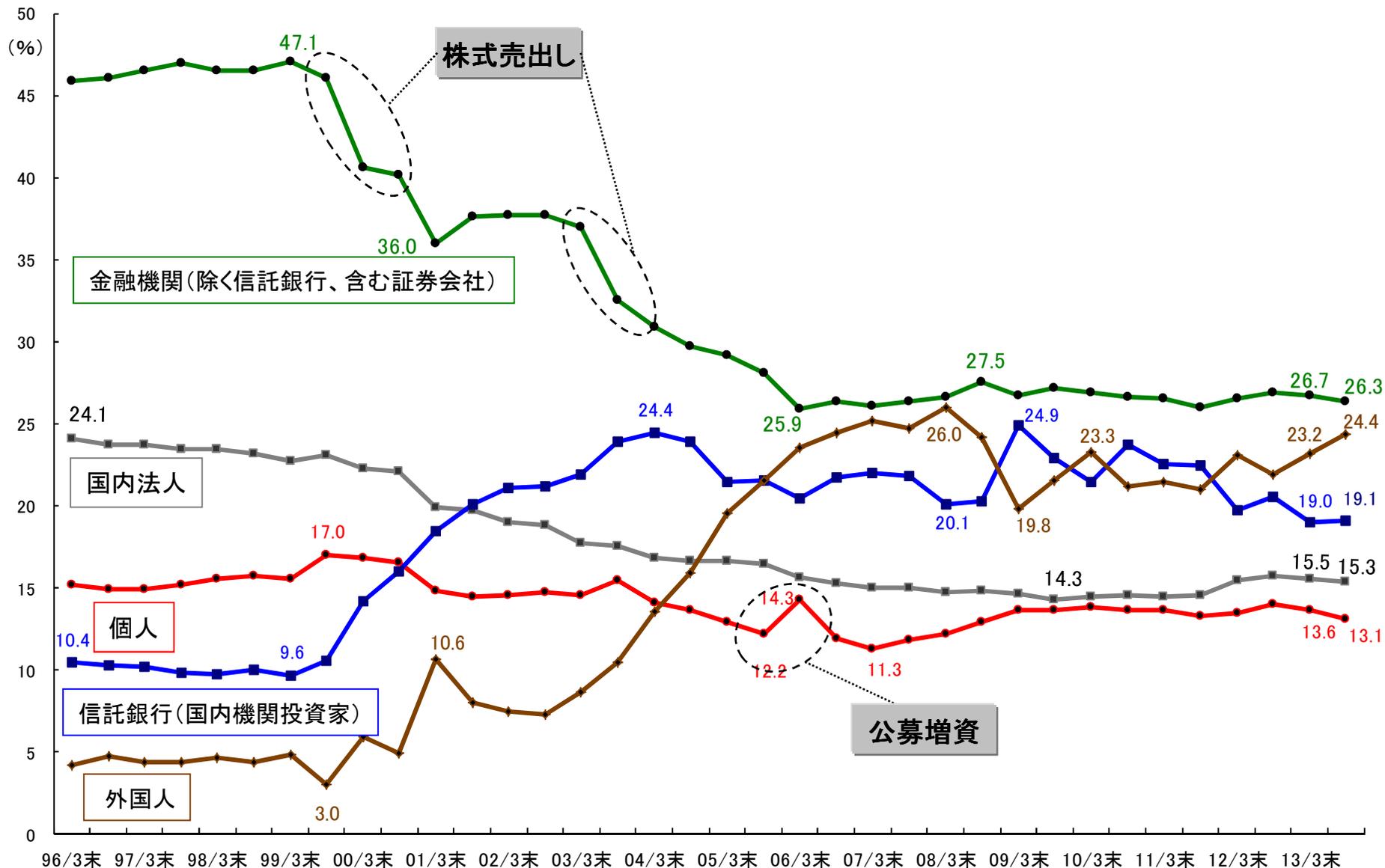
役務取引等利益

	24/12期	25/12期	増減額
役務取引等利益	108	130	21
役務取引等収益	245	267	21
うち投信+年金保険等	65	76	10
投資信託	32	52	19
年金保険等	32	24	△ 8
うち保障性保険手数料	5	7	2
うち法人役務手数料	9	10	1
役務取引等費用(△)	136	136	0
うちローン関係費用(△)	83	85	1

(ご参考) 日経平均株価と千葉銀行株価の推移

(チャート期間: 平成24年1月4日～平成26年1月31日)





本資料に関する
ご意見、ご感想、お問い合わせは
下記IR担当までお願いいたします。

株式会社 千葉銀行経営企画部(IR担当)

Tel: 043-301-8459

Fax: 043-242-9121

E-Mail: ir@chibabank.co.jp

本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。本資料には、将来の業績にかかる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。